

支 援 事 業 報 告 集



愛芸アシスト基金

2023
年度

ご賛同いただいた皆様へ

2023年度 愛芸アシスト基金 支援事業日程表

日頃は愛芸アシスト基金にご支援を賜り、まことにありがとうございます。

また、本学の展覧会や演奏会にも足をお運びいただき心より御礼申し上げます。

本学は、もうすぐ60周年を迎えますが、これまで国際的に活躍する芸術家のみならず、芸術文化に寄与している多くの卒業生を輩出してきました。今後も、芸術の可能性を探求した学生達が「芸術の力」を身につけ、やがてこの地域や世界で活躍していきます。

これも県民の皆様や地域の皆様、そしてなによりこの愛芸アシスト基金にご賛同をいただきました皆様のご理解とご支援の賜物です。

本学はこれからも将来の芸術文化を担う人材を育成すると同時に、芸術活動を通して地域に貢献していく所存です。

今後とも皆様に愛される芸術大学として、一層の努力をしてみたいです。

何卒、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

愛知県立芸術大学
学長 白河 宗利



01

オペラ公演 歌劇《アルチーナ》
2023年12月9日(土)、10日(日)
長久手市文化の家 森のホール

02

愛・知・芸術のもりから
2023年6月～2024年3月 計5回
SMBCパーク栄

03

愛知県立芸術大学サテライトギャラリーSA・KURAでの展覧会支援
2023年4月～2024年3月 展覧会開催回数：11回
愛知県立芸術大学サテライトギャラリーSA・KURA

04

障害者福祉支援事業としての陶芸アート
出前講座
2023年12月5日(火)、2024年1月23日(火)
社会福祉法人 生活介護事業所 あいうえおハウス
あいち・アールブリュット優秀作品特別展
2024年3月12日(火)～3月17日(日)
愛知芸術文化センター アートスペースG・H

01 大学オペラ公演2023 歌劇《アルチーナ》



2023年度の本学大学オペラ公演では、ヘンデルの歌劇《アルチーナ》を取り上げました。

2023年1月の舞台美術会議では、このとっつきにくい「魔法オペラ」をどのようにしたら長久手の皆様に理解していただけるだろうか、という話から始まりました。議論の中で出てきたのは、この公演をロールプレイングゲームの世界観の中で行ったらどうだろうという予想もしない案でした。ただ、話を聞けば聞くほど、これは大変興味深いということとなり実行に移しました。公演時には、舞台後方に昭和や平成の時代に親しんだテレビゲームの画面！大学院美術研究科非常勤講師の井村和寛の力作を背景にしながら、大学院音楽研究科声楽領域学生や本学合唱団が、飯塚励生講師演出のもと、実に表情豊かに演じました。本学管弦楽団も、糸原裕介講師の指揮のもと初めてのバロックとは思えないエネルギッシュな演奏を繰り広げました。

前述のテレビゲームの画面を舞台後方に映し出すのに用いたプロジェクターをはじめ、舞台やオーケストラピットでは本学所有以外の物品や衣裳が必要であるばかりでなく、照明、音響、大道具、小道具、衣裳、メイク、舞台進行等様々な

スタッフの力と技術が必要です。これらは愛芸アシストに寄附を頂いた皆様のお気持ちから成り立っています。

本年度はいよいよモーツァルトの名作、《フィガロの結婚》です。皆様からには引き続きご支援を頂きますよう、どうぞよろしくお願いします。

初鹿野 剛
(音楽学部声楽専攻准教授、大学オペラ制作責任者)



02 愛・知・芸術のもりから



名古屋の中心に位置するSMBCパーク栄で開催されるコンサート・シリーズ「愛・知・芸術のもりから」は、2023年度で14年目を迎えました。このコンサートは、各専攻・コースから選ばれた優秀な本学卒業生・修了生たちが音楽を発信する舞台となっています。若い彼らは、すでに各地で活躍しはじめている演奏家たちですが、このコンサートは、彼らを後押しする重要なキャリア支援となっており、また、愛知芸大の素晴らしさを広く知っていただける絶好の機会ともなっております。

2023年度は、ピアノ、弦楽器、管楽器の在学学生・卒業生・修了生から計5グループが出演させていただきました。毎回満席に近いお客さまにお楽しみいただけたことに、心から感謝しております。

今後とも皆様の温かいご支援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

成本 理香(音楽学部長兼音楽研究科長)



03 愛知県立芸術大学サテライトギャラリーSA・KURAでの展覧会支援



2023年度コレクション展1「ひとのかたち—写真—」

2023年度は、年間を通じて11回の展覧会を開催いたしました。内訳は以下の通りです。

(1) 収蔵品展

5月10日(水)～5月28日(日)は川上芸芸員が企画した「コレクション展1 ひとのかたち—写真—」として安井曾太郎から近年の卒業生までの具象表現を、6月7日(水)～6月25日(日)の「コレクション展2 ひとのかたち—抽象—」では、ひとの内面性を表す抽象的な要素を含む作品を展覧しました。

(2) 卒業生個展

3月9日(土)～31日(日)は、城戸保「駐車空間、文字景、光画」展を開催。城戸は本学大学院(油画・版画)修了生で近年活躍が目覚ましいアーティストです。長久手近郊の自然と人工が混じり合った風景を、絵画的感性と写真が混じり合った大判の写真作品に表現します。11月25日(土)～12月17日(日)は同じく本学大学院(油画・版画)修了の鵜飼聡子の「のこす/作法」展が行われました。芸術資料館の収蔵作品を一部モチーフに、「のこす」という行為に注目した展覧会でした。

(3) 教員による企画展

4月8日(土)～4月30日(日)は当ギャラリーの運営に携わっているアーティスト田島圭の個展を倉地教授が企画。7月1日(土)～7月23日(日)は、ドイツのラルフ・フリッツ・ベアガー「名古屋方面は7路線」展を竹内教授が企画。9月3日(日)～9月17日(日)は本学客員共同研究員ハッサン・キラン氏による個展「Shamanic Myths」 Hasan KIRAN Solo Exhibition」を倉地教授が企画しました。

(4) 退任展

9月30日(土)～10月22日(日)は阿野義久教授の退任記念展「循環—ここに在るもの」で、多数の油画によって教授の画歴が示されました。10月28日(土)～11月19日(日)は中谷聡教授の退任記念展で、石の抽象彫刻による「時のカプセル」シリーズが展示されました。1月21日(日)～2月12日(月・祝)は神田毎実教授の退任展vol.2「そして舟は行く～彷徨～」が行われました(vol.1は芸術資料館で開催)。

(5) 博士学位論文・作品展

2月22日(木)～2月28日(水)には、美術研究科博士後期課程各分野から7名の修了生が研究の成果を発表しました。

以上詳しくは本学ホームページより「サテライトギャラリーSA・KURA特設サイト」からご覧ください(<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/sakura/>)。本年も愛芸アシスト基金より貴重なご寄附を賜り、ありがとうございました。

小西 信之(芸術資料館長)



城戸保「駐車空間、文字景、光画」



阿野義久退任記念展「循環—ここに在るもの」

04 障害者福祉支援事業での陶芸講座



愛知県障害福祉課から依頼を受け、愛知県芸術活動支援事業2023“出前講座”を開催しました。この活動は、障害のある方々の創作活動を応援するため、芸術系大学の教員等が講師となり障害者支援施設等を訪問して絵画や陶芸等のアート活動を支援していく活動です。この活動は、2014年度に第1回目を開催し、今期で10年を迎えました。これまでに“あいちアール・ブリュット出前講座”として県内障害者支援施設等13カ所にて活動を行っています。この10年という間に、幅広い専門分野での知識を身につけることや多様化していく芸術活動への柔軟な対応、人材の育成といった課題が求められるようになってきたように思います。これまで以上に、陶芸を用いたアート活動が持つ効果と素材の特性を考慮した取り組みについて、さらなる展開を勘考して参ります。

今回実施した支援施設では、日常的に絵画制作やアートセラピーの試みを導入されている支援施設でしたので、スタッフの方々の積極的な助言と補助のおかげで、20名を超える大勢の参加者の皆さんとともに熱心な制作活動を行うことができました。この施設内で食事をされる時に使用する器を制作したいというご要望にお答えして、湯呑・飯碗・中鉢を制作しました。粘土を紐状にして積み上げていく手びねり技法や予め作成した石膏型にタタラ板を貼り付けるといった技法で、約50点あまりの思い思いの楽しい器を創り上げました。その作品は、愛知芸術文化センターで開催された「あいちアール・ブリュット優秀作品特別展」にて成果発表展示を行いました。

今後も、このような障害者福祉支援活動としてのアート活動



を通じて、“感じる力”と“創作力(ものづくりの喜び)”を育む機会として展開していきたいと思っています。

今回、愛芸アシスト基金支援事業での研究助成費より障害者芸術活動支援事業2023 “出前講座”で使用了粘土板などの道具購入費に活用させていただき有意義な支援活動を行うことができました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

佐藤 文子(美術学部陶磁専攻准教授)

愛芸アシスト基金からのお知らせ

クレジットカードによる決済が可能です。

本愛芸アシスト基金は、金融機関窓口での寄附のほか、クレジットカード決済による寄附ができます。

クレジットカードによる寄附を希望される場合は、下記のURLからお申し込みください。

<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/guide/summary/14.html>



※ご連絡可能なメールアドレスをご用意ください。

※本学のクレジットカードによる寄附は、F-REGI 寄付支払い(株式会社エフレジが運営する決済代行サービス)を使用しております。

ご寄附の手続き

1. はじめに、メールアドレスをご入力ください。
2. ご入力いただいたメールアドレス宛に、インターネット納付用URLのお知らせをお送りします。
メールを受け取られてから3時間以内にインターネット納付用URLを開いていただき、手続きをしてください。
3. 画面の指示に従い、必要事項を記入してください。最後に内容をご確認いただき、お申込み手続き完了となります。
4. 寄附金の払込み手続きをします。
5. 寄附は完了します。(最初にご入力 of メールアドレスに寄附完了確認メールを送信します。)
6. ご入金の確認ができ次第、領収書とお礼状をお送りいたします。

(寄附金の領収書は確定申告の際に必要となりますので、大切に保管してください。)

